

# 一般国道208号 荒尾道路に係る新規事業採択時評価

- ・現道の交通転換による交通渋滞の緩和および事故危険区間の回避により、円滑で安全な道路ネットワークの構築
- ・冠水頻発箇所や土砂災害危険箇所を回避し、洪水・高潮時の避難等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築
- ・観光施設等拠点間の速達性の向上による地域活性化

## 1. 事業概要

・起 終 点: 熊本県荒尾市荒尾～熊本県荒尾市大島  
 ・延長 等: 2.2km

(第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)

・全体事業費: 約230億円  
 ・計画交通量: 約10,500台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約7,600台/日	約1,200台/日	約1,700台/日

## 2. 課題

### ① 幹線道路における交通混雑と事故多発

・国道208号は、主要渋滞箇所や事故危険区間が存在。混雑度は全区間で1.0を超過。慢性的に速度20km/h以下の区間も存在。また、平均死傷事故件数は県内国道平均の約3.5倍。

(図2、図3、写真①)

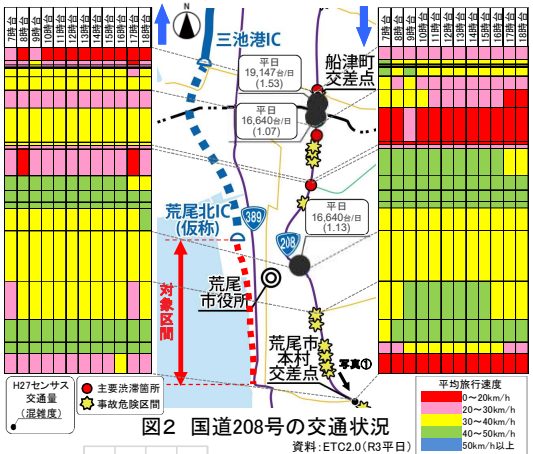


図2 国道208号の交通状況



図3 国道208号の平均死傷事故件数

写真① 渋滞状況

写真② 冠水状況



図1 事業位置図

### ② 災害に対して脆弱な道路ネットワーク

・有明海に面する沿線地域は、高潮や洪水の被害を受ける頻度が高い。国道208号は冠水による通行止めが頻発している上、土砂災害による道路寸断の恐れもあり。

(図4、図5、写真②)

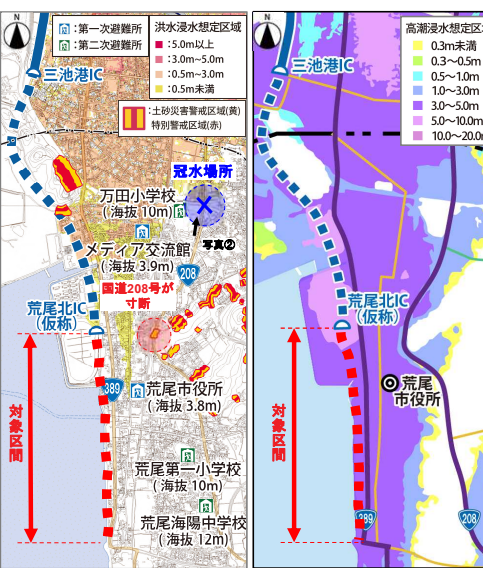


図4 洪水・土砂災害ハザードマップ



図5 高潮浸水想定区域

### ③ 拠点を結ぶ高速ネットワークの不足

・対象区間周辺は九州最大級の遊園地、世界遺産の万田坑、荒尾干潟、荒尾市ウェルネス拠点施設(仮称)など多くの観光・レジャー拠点が点在。(図6)

・一方、拠点を結ぶ高速ネットワークがなく、休日には観光目的等の交通に限られたアクセス路に集中するなど観光振興による地域活性化を阻害。(図7)

## 3. 整備効果

### 効果1 円滑で安全な道路ネットワークの構築【◎】

・現道の交通が転換し交通混雑の緩和が期待されるとともに、事故危険区間の回避により、円滑で安全な道路ネットワークを構築。(図8)

- 主要渋滞箇所【全て回避】【現況】3箇所⇒【整備後】0箇所
- 事故危険区間【全て回避】【現況】12箇所⇒【整備後】0箇所
- 交通量

【現況】16,640台/日 混雑度1.13 ⇒【整備後】13,300台/日 混雑度0.90

### 効果2 信頼性の高い道路ネットワークの構築【◎】

・冠水頻発箇所や土砂災害危険箇所を回避し、洪水・高潮時の避難等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築。

- 冠水頻発箇所及び土砂災害危険箇所【全て回避】

【現況】2箇所⇒【整備後】0箇所

### 効果3 速達性の向上による地域の活性化【◎】

・速達性の向上により、観光振興などを通じた地域活性化を促進。

- 有明海沿岸道路(三池港IC)～グリーンランド間の所要時間

【現況】19分⇒【整備後】12分(約7分短縮)

- 有明海沿岸道路(三池港IC)～荒尾干潟間の所要時間

【現況】11分⇒【整備後】6分(約5分短縮) ※有明海沿岸道路は設計速度80km/hで算出 資料: 全国道路・街路交通情勢調査(H27)

### ■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
2.0	7.5%	5,844億円※2	11,527億円※2
(0.7)	(2.0%)	(163億円※2)	(109億円※2)

注) 上段の値は長洲町～佐賀市を対象とした場合、下段( ) 書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果

※1: EIRR: 経済的内部収益率 ※2: 基準年(R4年)における現在価値を記載 (現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

### ■大規模災害に対するネットワークとしての防災機能評価

改善ベア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
3	0.95	0.38	▲2.5	0.08	0.25	○
(1)	(1.00)	(1.00)	(▲0.9)	(0.07)	(0.00)	

注) 上段の値は長洲町～佐賀市を対象とした場合、下段( ) 書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果

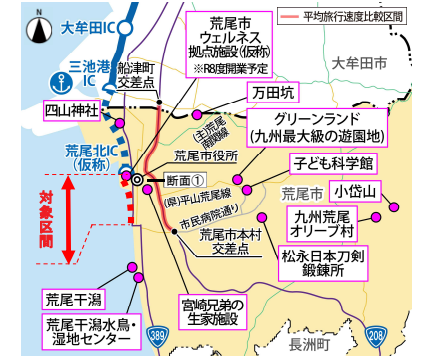


図6 荒尾市の観光・レジャー施設

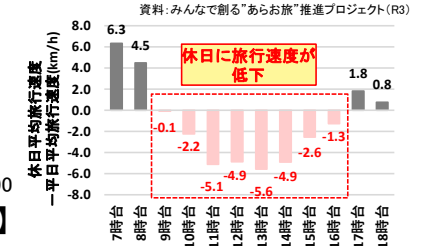


図7 休日と平日の平均旅行速度比較(本村交差点⇒船津町交差点)

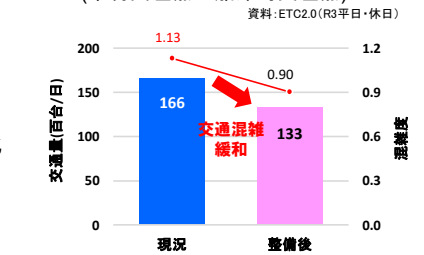


図8 国道208号の混雑度(断面①)

資料: 全国道路・街路交通情勢調査(H27) 将来交通量推計に基づく予測値

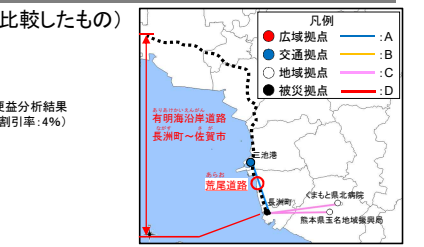


図9 整備後の防災機能ランク

# 一般国道208号 荒尾道路に係る新規事業採択時評価

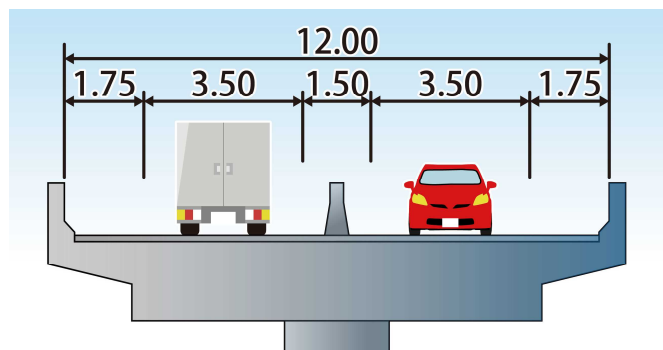


凡例	
---	対象区間
□□□	調査中区間 (都市計画決定済)
— — —	一般国道
— — —	主要地方道
— — —	一般都道府県道
●	主要渋滞箇所
★	事故危険区間
×	冠水箇所
○	工業団地
交通量台/日	交通量 (H27全国道路・街路交通情勢調査) : 混雑度
○	主な拠点施設
- · - ·	市町村境界線
■	高潮浸水エリア 1.0~3.0m 3.0~5.0m
— — —	車線数 (2車線/4車線/6車線)



## 標準横断面図

[単位:m]



## 計画縦断面図

